

美しい切削部品加工を追求

# 「確かなもの、間違いないものをつくる」匠の技

カシワミルボーラ

カシワミルボーラ（大田区東糀谷、柏良光社長、03・3744・1504）は、主に金型部品の切削加工（マシニングセンタ加工）を主要とし、ステンレス、アルミの量産加工、試作品、高速穴あけ加工、高速3D加工、意匠面のある金型部品加工を得意としている。

「確かなもの、間違いないものをつくらせていただく、これがポリシーです」と話す柏良光社長は、お客様の要望を叶えるため、主要設備にも強いこだわりをみせる。例えば、金型意匠面の削りだしには、最小分解機能10000分の1ミリ単位で微細加工できる機械で加工し、機敏な動きが要求される量産部品の製造では、素早いツール交換が可能で、高速穴あけ加工に適している機械で加工するなど、その機械ごとの特徴を巧みに使い分け、効率的に高品質の製品を製造している。そして何より、これら最新の設備を自在に操る職人の技がここにはある。その技術を象徴するものが「女性削り」だ。

金属を女性特有のしなやかな曲線に加工し、今にも動きだしそうなほどである。この「女性削



左から、工場長の政光氏、社長の良光氏、会長の春光氏



同社の技術力の象徴「女性削り」

りこそ、同社の技術力の高さを象徴するものとして、工業フェアなどに展示している。

平成23年には、そうした高い技術が認められ、工場長の柏政光氏が「マシニングセンタによる切削加工」分野で、大田区による「大田区ものづくり優秀技能者（大田の工匠100人）」に選ばれた。これは大田区内の従業者数3人以下の企業で活躍している職人を対象として表彰し、その技能の継承と後継者の育成を目的とした制度である。受賞した政光氏は、「昨日の非常識は、明日の常識と信じ、夢を持って前進したい」と語る。

また、同社は大田区内の中小製造業の有志が集い、冬季五輪の日本代表ボブスレーチームのソリを開発している「下町ボブスレープロジェクト」（うめナビ Vol.10

に掲載）へ参加したり、近隣の工場と連携し、同社では解決できない案件も、各分野、加工のエキスパートが対応するという「おたグループネットワーク」に参加するなど、自社だけでなく、モノづくりの町、大田区全体を活性化しようとして取り組んでいる。

どんな状況も、前向きに捉え、既存の概念にとらわれないことなく、突き進む同社の挑戦はまだ続く。